

けいかく  
こども計画ってなに？

こども計画は、みなさんが、自分らしく幸せに成長し、安心して暮らせるまちをつくるための計画です。

計画の中には、みなさんのほかに、お父さん・お母さんや、これからこどもを産むひとなどの助けになるまちの取組について書かれています。



けいかく とくちょう  
こども計画の特徴

- いま子育てをしている人、こどもとかかわる仕事をしている人など、いろいろな人の意見を聞いてつくりました。こどもたちからのアンケートも参考にしています。
- こどもの成長に合わせて、伯耆町がどんな取組をしているのかが分かるようにまとめています。

きほんりねん  
基本理念

ほうきちょう  
伯耆町はこんなまちを  
めざ  
目指しています！

すこ  
こどもが健やかで

こころゆた せいちょう  
心豊かに成長することができるまち ほうきちょう  
伯耆町

これから伯耆町を「伯耆町が目指すまち」にするために、4つの目標をつくりました。4つの目標について、いろいろな取組を進めます。

基本目標

1

こどもまんなか社会の  
じつげん む  
実現に向けたまちづくり

こどもや若い人、子育てをしている家族には、それぞれの年れいごとに悩みがあります。その悩みを聞いて、すべての時期を通して安心してすごせる環境をつくりまします。また、こどもや若い人を大切に、みんなでその気持ちを守る社会を目指します。

基本目標

2

こども・若者が  
すこ  
健やかに育つまちづくり

こどもが生まれる前から子育ての準備をすることが大事ですから、お母さんが赤ちゃんを産む前から子育てが終わるまで、しっかり助ける仕組みをつくりまします。また、こどもが大きくなるにつれて必要なサポートが受けられる環境を整えます。

基本目標

3

子育てに喜びを感じるこ  
よるこ  
できるまちづくり

お父さんやお母さんが、子育てで困ったりつらい思いをしたりしないようにまします。

そして、こどもの成長に喜びを感じられるような環境をつくりまします。



基本目標

4

地域全体でこども・若者、  
こそだ  
子育てを支えるまちづくり

こどもや若い人、子育てをしている家族を応援するために、地域のみんがが子育てに関心を持ち、助け合えるようにまします。また、こどもやその家族が安心して暮らせる環境をつくりまします。

ぐたいてき  
具体的に  
具体的なにはどんなことをするの？

うら  
めん  
面を  
よ  
読んでね！



【このことについての連絡先】

ほうきちょうやくば ふくしか  
伯耆町役場 福祉課

でんわ  
電話 0859-68-5534



ほうきちょうホームページ

4つの目標を達成するために、こんなことに取り組みます。

### 基本目標

## 1

### 子どもまんなか社会の実現に向けたまちづくり

- ①困りごとや心配ごとを相談できる人や場所をつくります。
- ②子どもや若者の権利について、町民のみなさんに知ってもらえるような取組をします。
- ③子どもの考えや意見を書いたり伝えたりできる機会をつくります。



### 基本目標

## 2

### 子ども・若者が健やかに育つまちづくり

- ①お母さんが赤ちゃんを産む前から、子どもが小学生になるまでしっかり助ける仕組みをつくります。
- ②子どもが小学生になるまで、保育所や幼稚園に通えるようにします。
- ③子どもが小学生・中学生になったら、それぞれの子どもに合った教育を受けられるような環境をつくります。
- ④学校以外で、放課後や休日にすごせる場所や、勉強やスポーツができる環境をつくります。
- ⑤障がいや病気などのある子どもとその家族へのサポートをします。
- ⑥いじめのない学校で安心してすごせるように、子どもたちの心配ごとを先生や専門の人が聞いたり、話し合ったりします。また、学校に行けない子どもが勉強や相談できる場所をつくります。
- ⑦大人になって、けっこうしたいなと思ったときにいろいろな人と出会う機会をつくったり、けっこうしたときのお金をサポートしたりします。



### 基本目標

## 3

### 子育てに喜びを感じることでできるまちづくり

- ①子育てをする人に、子育てをするために必要なお金を払ったり、給食を食べるときや病院に行ったときに必要なお金を安くしたりします。
- ②子育てする人を助けるサービスをします。また、地域の人と一緒に、子どもや子育てする人を見守ります。
- ③仕事をしながら子育てができるような取組を、子育てしている人が働く会社の人たちと一緒に考えます。
- ④ひとり親の人が子育てしながら生活できるようにサポートします。



### 基本目標

## 4

### 地域全体で子ども・若者、子育てを支えるまちづくり

- ①ヤングケアラーの子どもやひきこもりの人のところへ行って、専門の人が話を聞いたり、家に行きサポートをしたりします。
- ②子どもがお金に困ってしまわないように、さまざまなサポートをします。
- ③学校と役場と専門の場所が協力して、子どもが虐待にあわないように話し合ったり、家族や子どもと関わったりします。

